

京都総評



京都地方労働組合総評議会：発行

第 300 号

発行所
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会（京都総評）
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL https://www.labor.or.jp/sohyo/
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

主な日程

「19の日」行動

2月19日(水) 18:30 京都市役所前

学児裁判報告集会

2月21日(金) 19:30 ラポール京都

2025年春闘 京都総評の要求基準

最低規制要求

- 産別・企業内賃金を誰でもどこでも時給1700円以上、月26万円以上
- 非正規労働者の賃金大幅引き上げ、同一労働同一賃金・均等待遇の実現

賃上げ要求額

- 月額32000円以上、時間額200円以上

25春闘 労働組合の力で大幅賃上げ！

ユニオン

パワー



春闘方針を提案する柳生事務局長

仲間を増やして、要求前進！

京都総評は、1月25日に第97回臨時大会を開催し、25京都春闘方針を全会一致で採択し確立しました。

大会討論では、23人の代議員が発言し、産業・職場・地域の実態、25春闘をたたかう決意、シエンダー平等宣言への思い、などが語られました。

物価高騰を上回る賃上げを！

24春闘で京都春闘共闘の回答総額は29年ぶりの8000円台を引き出しました。公務員賃金引き上げに向けて24秋闘で「官民総がかり行動」を取りましよう。そのため

行い、民間の賃上げに続く公務員賃金引き上げの流れを生み出しました。25春闘では、こうした賃上げの流れを加速させ、労働組合の交渉力を高めて大幅賃上げを勝ち取りましよう。そのため



25春闘勝利へ団結ガンバろう

25春闘勝利へ決意あふれる討論

大会討論では、「物価上昇に負けない賃上げ、すべての仲間の大幅賃上げ、非正規も正規と同様の賃上げ、などをめざして25春闘をたたかう」(JMITU)、「25春闘では、3万8000円以上の賃上げを要求し、非正規にも退職金支給を求めたたたかう」(建交労)、「25春闘は団結力を高めてたたかう」(全国一般)、「正社員62%、非正規65%がアンケートで『生活が苦しい』と答えている。大幅賃上げめざしてユニオンパワーが問われる春闘だ」(郵政ユニオン)、「25春闘では民間単産の支援とともに、地域手当や子ども看護休暇、会計年度任用職員の有給の病欠休暇の実現などを求めてたたかう」(自治労連)など25春闘で大幅賃上げを勝ち取る決意あふれる発言が相次

全会一致で春闘方針を決定

に、組合員一人ひとりの主体性を高め、労働者との「対話と学び合い」を追求し、仲間を増やしてたたかうという「要求実現の求心力で仲間を増やす」活動を大いにすすめます。そして、人間らしく暮らせる賃金をめざして、物価高騰を上回る大幅賃上げを実現へ全力をあげましよう。



全労連評議員会で25春闘方針確立！

京都総評から上野事務局次長が発言



あいさつする秋山全労連議長

要求基準 月3万2000円 以上を

全労連は1月22日から23日にかけて評議員会を東京都内会場とオンライン併用で開催しました。要求基準として、賃上げ月3万2000円以上、労働時間の規制、時間短縮を求めます。春闘方針案は、①すべての労働者の大幅賃上げ・底上げへ、②ストライキを背景にたたかう、③統一闘争と地域春闘の強化でたたかう労働組合の本領発揮を、④「対話と学びあい」労働組合のバージョンアップで仲間を増やして勝利、⑤最低賃金全国一律制と15000円以上の実現、最低規制強化

官民共同のたたかいは希望

評議員会では、京都総評の上野広光事務局次長が発言。京都総評の官民総がかりの取り組みに関わって、公務と民間双方で賃金、労働条件を向上させていくための運動や、会計年度任用職員の処遇改善、雇用を守る共同のたたかいを継続的につづけてきたこと。そのなかで京都市職労のなかから「官民共同のたたかいで民間労働組合の本気度でたたかう姿があったことは最大の希望だ」という発言が語られたことなどを紹介しました。

相互支援・相互激励でたたかう

2月27日に「春闘戦略会議」を開催し、春闘要求と戦術の交流を行いました。そして、3月13日の全国統一行動を中心に、

また、地域からはユニチカのアスベスト被害救済のたたかひ(宇城久)、向日市に建設予定のアーナ問題でのたたかひ(乙訓)、綾部市の学童保育民間委託問題で労組結成してたたかっている(綾部)、食料支援の取り組みも6回目、食料支援に参加した大学生がボランティアスタッフとして

TUBUYAKI

厚生労働省の「労働基準法制研究会」は、1月8日に報告書を公表しました。その主な内容は、労働基準法1条が定めた「労働者が人たるに値する生活を営むための必要を充たすものであること、②この法律で定める労働条件は最低のものであり、当事者はその向上を図るよう努めなければならない」との労働条件法定主義を「労使自治」を口実に切り崩そうとしています▼1971年、特別措置法である「給特法」によって公立学校の教員は労基法37条(割増賃金の支払い)が適用除外になりました。当時、京教組などの教職員組合やすべての野党が「そんなことをしたら教員の労働時間が青天井になる」と反対しました▼法律制定から53年が経過し、学校現場では過労死ラインを超える長時間労働が蔓延し、精神疾患、若年退職が急増しています▼労基法の一部適用除外が、「定額働かせ放題」と揶揄される現場をつくる要因となりま

して取り組みます。25春闘をみんなの力、ユニオンパワーでたたかう、大幅賃上げを実現しましょう。(HN)



年金宣伝東寺

今回の「年金改定」は、年金受給者に対してというより現役世代の将来の年金受給に大きく影響します。3月初旬に上程されるため改定案の詳細については不明ですが、判明している内容と問題点を説明します。

2025年 年金改定 の内容と問題点

将来の年金受給に大きく影響 安心できる年金制度を求めて

社会保険制度への加入条件が緩和される

週20時間以上働けば社会保険への加入が必要となります。なお、従業員51人以上の規模の廃止は10年後になる予定です。

国民年金に加入の場合、1階部分の「基礎年金」しか受給できませんが、厚生年金保険に加入することで2階部分の「報酬比例年金」も受給できます。将来受給する年金額を考えると、パート・非正規労働者の社会保険の加入条件が緩和さ

れることは悪いことではありません。しかし、保険料負担が発生することで「手取り」が減ることになり、加入に消極的な方々もおられます。厚生年金の保険料負担はこれまで労使折半です。しかし、今回の改定案では「労使の合意で負担割合を決められる」とされています。これまで行っていた国の助成措置をなくし雇用主に押しつけるからです。国は「時限措置で対象者も限定」と説明していますが、保険料の負担割合が会社ごとで変わり、同じ会社の労働者間でも違いが生じます。

遺族年金の制度が変わる

今回の遺族年金の改定は男性と女性の支給基準を合わせるために改定するとされています。しかし女性を受給する遺族年金は改悪されます。現在の遺族厚生年金は30歳未満の女性の場合「18歳未満(障害のある場合は20歳未満)の子がいらない人

には5年間しか遺族年金を払わない」となっていますが、この制度が60歳未満までに拡大されます。子どもがいらないなら「しっかりと働け」という

ジェンダー平等宣言を採択

第97回臨時大会にて

ジェンダー視点を貫き 誰もが参加できる 労働組合へ

昨年9月の定期大会において、ジェンダー平等宣言を提案し、職場や組織での議論や実践を通じて、第二次案を経て最終案と練り上げ、臨時大会での提案となります。単産や地域で、ジェンダー平等宣言案の学習会や議論等での意見をお聞きしました。男性が多い職場や一方で女性が多い職場もあり、それぞれ受け止めも違いました。少数であれば働きづらさもあり。また男女格差

一つとなり、ジェンダー平等を推進する社会的な役割を果たしてきます。これからは、女性だけの課題とせず、全体の運動にすることが大事であり、そのためには、組合の組織運営のあり方の見直しも必要になります。京都総評の意思決定の場での男女同数をめざし、要求の柱にジェンダー視点を貫くこと、あらゆる男女格差をなくし、誰もが参加でき一緒に取



提案する海藤副議長

改定になっていて、施行後20年程度かけて実施される。さらに、遺族厚生年金の中高齢加算については、今後、将来

的な廃止を含めて検討がされます。あまりにもひどい改定なので配慮措置も示されていますが、女性の遺族年金制度は大きく変わることにあります。

年金制度を 安心して暮らせる 制度にしてほしい

4月以降の年金額改定は是正のためには、長時間労働をなくし、人員不足を解消したいなどの要求も語られました。また、1960年代の府庁周辺に保育所を作る運動の事例はじめ京都のジェンダー平等の歴史を振り返ると、今までは、当事者の女性部はじめ女性運動と民主的な勢力が

採択宣言全文はこちらから



日本で一番先進的な たたかいをしている

単産の活動
生業での
組合活動

京都放送労組



9・18更生法30周年(全員集合)

1980年分裂した組合を統一して今の組合が誕生。その後の運動の原点となった94年廃局寸前のKBS京都を40万人の市民の支援を得て放送の

灯を守りました。更生法申請日の前夜KBSホールで河内京都総評議長と連合京都の会長が当時の委員長をはじめ放送の灯を守ろうと握手。大きな運動がありました。3年前に自分たちの賞与資金をあて50億を無事返済。その間一人の首切りも許さなかったことは高く評価でき、労働運動史上語り草となっています。

KBSの仲間の苦難あるところに必ず組合あり、とのスローガンで旺盛に要求実現をはかる一方、市民に開かれた局づくりに邁進しています。

20年前から格差是正に取り組み180名もの非正規労働者を社員化・直用化などを実現しており、「日本で一番先進的なたたかいをしているのは京都放送労組(脇田滋龍谷大 学名誉教授)と評価されています。このほか平和や市民との共同取り組みを積極的に、10年前の秘密保護法反対では京都で最初のデモを行いました。多くの成果と多彩な活動の要因は「ウソをつかない」日常活動を活発に行っていることです。

ハタチ」と言い表せるような未熟な側面もありますが、ここまで大きくなって来たことへの感謝と、親としても「よくがんばったね」と自分を誉めてあげたいです。

with/パラヤ 日常のひとコマ

よくがんばったね
福祉保育労 上野 有里

長女が20歳を迎えました。七五三を迎えた末っ子と一緒に記念に撮影。またまた「生後

あなたのパシャ写真募集中!

【応募方法】①画像1枚 ②タイトル ③コメント1000〜2000文字程度 ④お名前(掲載はペンネーム可) ⑤所属 ⑥プレゼントの送り先を書いて、京都総評までメールでお送りください。掲載された方には図書カード(10000円分)を贈呈します。